

本学習の目標と評価規準

目標	〇〇を透明シートに配置することをきっかけとして、カラーペンや透ける表現を楽しみながら表したいものを見付け、シート上の様々な表現と影響し合いながら、いろいろな色や形などを捉え、表したいことを工夫して表す。				
観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>知識 カラーペンや透ける表現から想像を広げて表すときの感覚や行為を通して、色々な色や形に気付いている。</p>	<p>技能 カラーペンに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。</p>	<p>A 表現 透けるシートにお散歩の世界を描くことを通して捉えることができるいろいろな色や形を基に、自分のイメージをもちながら、カラーペンや透ける表現から表したいものを見付け、好きな色や形を選んだり、いろいろな色や形を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。</p>	<p>B 鑑賞 透けるシートにお散歩の世界を描くことを通して捉えることができる様々な色や形を基に、自分のイメージをもちながら、カラーペンや透けることによってできる造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて感じたり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度 お散歩の世界を描くことを通して「もっと〇〇したい」とつくりだす喜びを味わい楽しくカラーペンや透けることによってできる表現活動に取り組もうとしている。</p>

【学習の探究的過程】（全3時間）

第1次 だれをおさんぽさせようかな？（1時間）

①「ぞうきんのおおかぜさんぽ」をよんでみよう


だれをどんなようすでおさんぽさせるか、アイデアを話し合う。

絵本「ぞうきんのおおかぜさんぽ」の読み聞かせをきっかけとして、「こんなことが起こったら面白そう」とイメージを膨らませたり、生活経験に結び付けてお話を考えたりすることができるようにする。

②おさんぽさせたい〇〇をかこう

B5サイズのプラ板に、お散歩させたい〇〇をマーカーで描く。

お話のきっかけとなる〇〇を個々にプラ板に描くことで、全員が自分の「〇〇をさんぽさせたい」という思いを持って共有スペースでの活動をスタートできるようにする。



第2次 おさんぽをしていると……（2時間）

③おさんぽに出かけよう

透明シートに、お散歩させたい〇〇たちを貼る。

対象となる世界に入り込みやすいように、また実際におさんぽしながらイメージを膨らませることができるよう、ビニルシートを立った時の目線の高さに設置する。

④どんなことがおこるかな？

貼った生き物や友達の生き物をきっかけとして、お散歩のお話を考えて描いていく。

⑤どんなおはなしになったかな？

描くことでできるお散歩の世界を見合いながら、思い付いたことを話し合いさらに描いていく。

「みんなが楽しくお散歩できるように。お散歩の続きを描こう」と投げかけることで、友達の表現と自分の表現との関わりを意識できるようにする。

双方向から描けるようにすることで、思いがけずお話が繋がったり、影響し合ったりするようにする。

おさんぽさせたい〇〇を自由に動かすことができるようにしておくことで、本当におさんぽするように〇〇を動かして思いを膨らませたり、貼りなおすことで画面を捉えなおしたりできるようにする。

